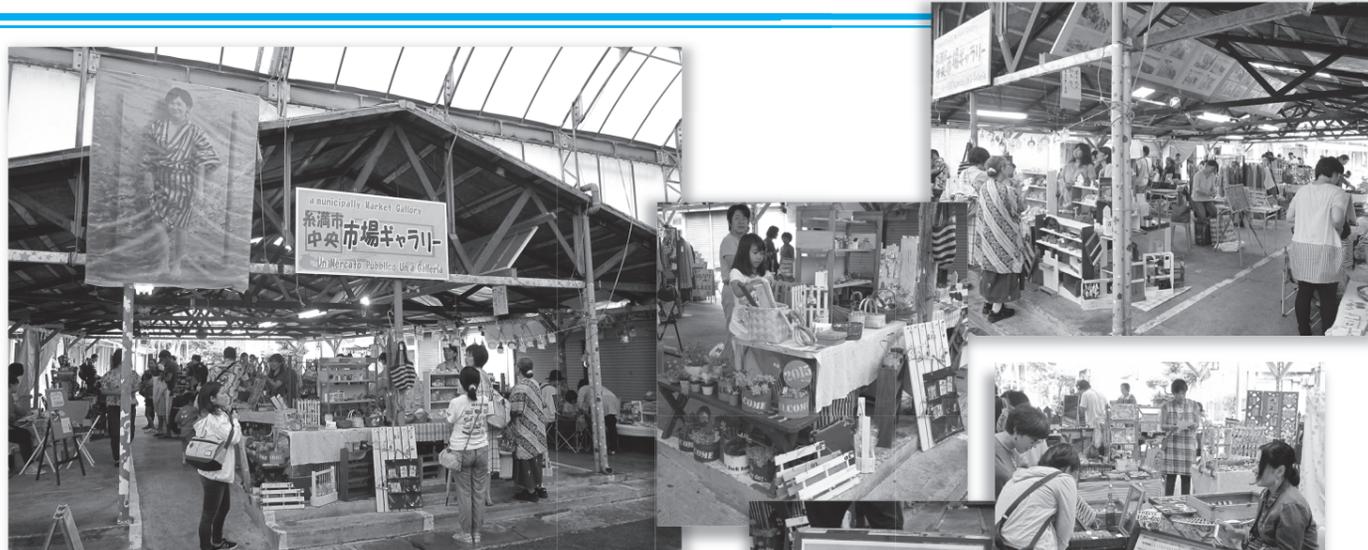


いとまん 市議会だより

第98号

平成28年6月6日発行

＝ 平成28年第2回(2月)臨時会
＝ 平成28年第3回(3月)定例会
＝ 平成28年第4回(4月)臨時会

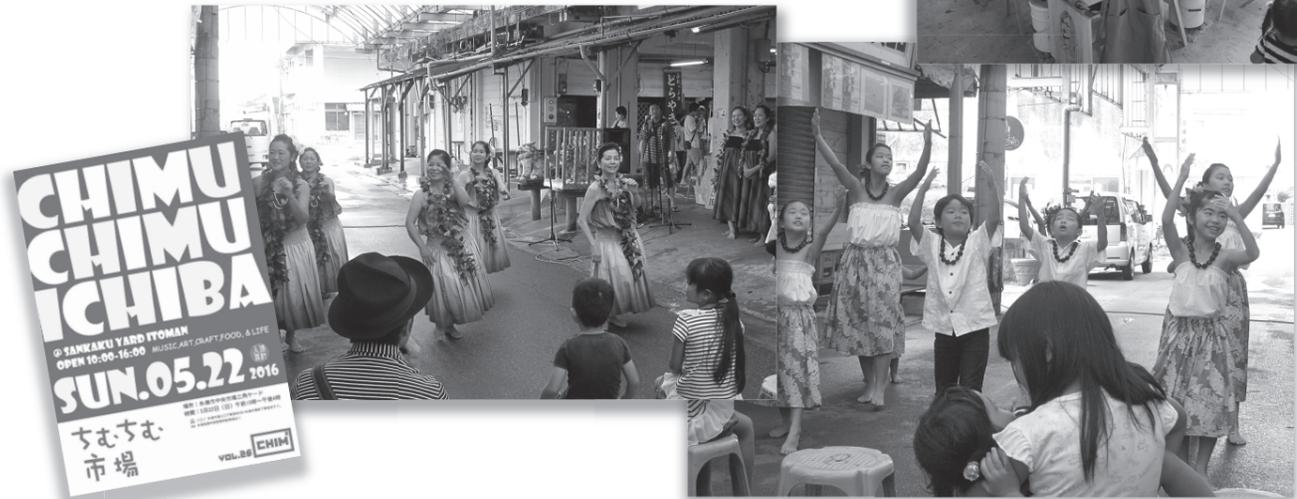


糸満市中央市場にて開催された、「ちむちむ市場」の様子。

「ちむちむ市場」とは…?

手作り商品を出店する糸満の自由市のこと。様々な出店の他、フラダンスなどの開催もあり、雨天ながら多くの人々が来場していました。

「ちむちむ市場」ホームページ <http://www.chim2.com/>



◆◆◆ 平成28年 第2回臨時会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件名	議決結果
議案第3号	平成27年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決

◆◆◆ 平成28年 第3回定例会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件名	議決結果	事件番号	件名	議決結果
議案第4号	平成28年度糸満市一般会計予算	原案可決	議案第37号	指定管理者の指定について(糸満市農村公園)	原案可決
議案第5号	平成28年度糸満市人育成事業特別会計予算	〃	議案第38号	あらたに生じた土地の確認について	〃
議案第6号	平成28年度糸満市国民健康保険事業特別会計予算	〃	議案第39号	字の区域の変更について	〃
議案第7号	平成28年度糸満市介護保険特別会計予算	〃	議案第40号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	〃
議案第8号	平成28年度糸満市公共下水道事業特別会計予算	〃	議案第41号	平成27年度糸満市一般会計補正予算(第7号)	〃
議案第9号	平成28年度糸満漁港ふれあい公園事業特別会計予算	〃	議案第42号	工事請負契約について(農業集落排水汚水処理施設建築工事)	〃
議案第10号	平成28年度糸満市土地区画整理事業特別会計予算	〃	議案第43号	指定管理者の指定について(糸満市都市公園等)	〃
議案第11号	平成28年度糸満市後期高齢者医療特別会計予算	〃	議案第44号	指定管理者の指定について(糸満市屋外運動場)	〃
議案第12号	平成28年度糸満市農業集落排水事業特別会計予算	〃	議案第45号	指定管理者の指定について(糸満市児童体育施設)	〃
議案第13号	平成28年度糸満市水道事業会計予算	〃	議員提出議案第1号	米軍人による弾薬発射事件に関する意見書及び抗議決議の提出について	〃
議案第14号	平成27年度糸満市一般会計補正予算(第6号)	〃	議員提出議案第5号	杉浦友平副市長に対する辞職勧告決議について	否決
議案第15号	平成27年度糸満市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃		上原正次議員の議員の辞職	許可
議案第16号	平成27年度糸満市介護保険特別会計補正予算(第4号)	〃		糸満観光農園に関する調査の件	決定
議案第17号	平成27年度糸満市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	〃		未来の有権者のための、模擬投票所設置に関する陳情	採択
議案第18号	平成27年度糸満市土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	〃		軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	〃
議案第19号	平成27年度糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	〃	議員提出議案第2号	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出について	原案可決
議案第20号	平成27年度糸満市水道事業会計補正予算(第3号)	〃		「若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書」採択に関する陳情	採択
議案第21号	糸満市行政不服審査会条例の制定について	〃	議員提出議案第3号	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書の提出について	原案可決
議案第22号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	〃		議員派遣の件	決定
議案第23号	糸満市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について	〃		閉会中の継続審査(調査)の申し出について	〃
議案第24号	糸満市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	〃		国の出先機関の予算・人員体制の拡充を求める陳情	継続審査
議案第25号	糸満市職員定数条例の一部を改正する条例について	〃		国連の「沖縄県民は先住民」という勧告の撤回を求める陳情	〃
議案第26号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	〃		「慰安婦問題について適切な対応を求める意見書」の国への提出を求める陳情	〃
議案第27号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	〃		沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	〃
議案第28号	糸満市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用に係る利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	〃		沖縄2紙の偏向報道報道に対し、公平公正な報道をするよう要請書の採択についての陳情	〃
議案第29号	糸満市都市公園条例の一部を改正する条例について	〃		健康で文化的な最低限度の生活を保障する立場で「生活保護基準引き下げ」「住宅扶助、冬季加算の引き下げ」中止を求める陳情書	〃
議案第30号	糸満市風景づくり条例の一部を改正する条例について	〃		「生活保護基準引き下げ」中止を政府に強く求めるとともに、「附帯決議」の内容を周知徹底し、申請権・受給権を保障し、申請拒否、就労強要、扶養強要などの「人権侵害」は行わないことを求める陳情書	〃
議案第31号	糸満市火災予防条例の一部を改正する条例について	〃		所得税法56条廃止の意見書提出を求める陳情書	〃
議案第32号	糸満市附属機関設置に関する条例の一部を改正する条例について	〃		高速道路(那覇空港自動車)の糸満市までの延伸について	〃
議案第33号	糸満市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	〃		糸満市議会常任委員会会議録のホームページ上での掲載を求める事についての陳情書	〃
議案第34号	教育委員会委員の任命について	同意		議会基本条例制定について(陳情)	〃
議案第35号	財産の取得の変更について(小中学校ICT教育強化・環境整備事業)	原案可決		一般質問時の市当局の答弁の改善について(陳情)	〃
議案第36号	指定管理者の指定について(糸満市コミュニティセンター)	〃		早期の議会報告会開催について	〃

◆◆◆ 平成28年 第4回臨時会議案等処理結果 ◆◆◆

事件番号	件名	議決結果
議案第46号	平成28年度糸満市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第47号	専決処分の承認について(糸満市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第48号	専決処分の承認について(糸満市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃
議員提出議案第6号	「平成28(2016)年熊本地震」における迅速な被災者支援と早急な復興支援を求める意見書の提出について	原案可決

本案は、議員、市長、副市長及び教育長の期末手当について、沖縄県の改定を踏まえ、期末手当の支給割合を年100分の310から100分の315に引き上げるため、条

糸満市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例について

平成28年3月22日付けで上原正次議員より議員辞職願が提出され、同年3月31日をもって議員の辞職を許可しました。

上原正次議員の議員の辞職について

平成28年3月24日付けで杉浦友平副市長に対する辞職勧告決議が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

**否決
杉浦友平副市長に対する辞職勧告決議について**

本案は、現委員の稲嶺初江氏の任期が平成28年3月31日をもって任期満了することに伴い、新たに玉城(たましろ)利恵(りえ)氏を教育委員会委員として任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求められたものです。

教育委員会委員の任命について

本案は、水道事業の業務を行うにあたり、職員等が量水器の設置、検針等で民有地に立ち入ることが多々あるがこれまで立ち入りに関する明確な規定がなく、使用者とのトラブル防止になり円滑な業務遂行を図るため、条例の一部を改正するものです。

糸満市水道事業給水条例の一部を改正する条例について

例の一部を改正するための議案です。

糸満観光農園調査特別委員会の調査が終了し、調査報告書が提出されました。

平成28年第3回(3月)定例会



糸満観光農園調査特別委員会は、糸満観光農園株式会社の解散に至るまでの経緯と問題点を明らかにするため、平成26年6月20日から平成28年3月18日の間に34回開催されました。なお、調査報告書は市議会ホームページにも掲載しています。

意見書等

第3回定例会では3件の意見書を可決しました。

米軍人による準強姦容疑事件に関する意見書及び抗議決議	軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書	若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書
意見書あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣 抗議決議あて先：米大統領、米国防長官、米国防務長官、駐日米大使、在日米軍司令官、在日米海軍司令官、在沖米海軍部隊活動司令官、在沖米国総領事、在日米軍沖縄地域調整官	あて先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣	あて先：内閣総理大臣、厚生労働大臣

平成28年第2回(2月)臨時会

第2回臨時会は、2月25日に開催されました。同臨時会には、市長から糸満市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)の議案1件の提出がありました。議案の処理結果については、12ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成28年第3回(3月)定例会

第3回定例会は、3月3日から3月25日までの23日間の日程で開催されました。同定例会には、市長から平成28年度糸満市一般会計予算などの議案46件の提出がありました。また、議員提出議案として意見書3件及び抗議決議1件の提出がありました。議案等の処理結果については12ページに掲載してありますので、御参照ください。

平成28年度一般会計予算(当初予算)

本案は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ260億円とするものです。主な新規事業は次のとおりです。

- 市制施行記念事業 1246万円
- 証明書コンビニ交付事業 1015万円
- 糸満市子供の未来支援事業(貧困緊急対策) 5378万円
- 糸満漁港整備事業 7500万円
- 米須山城海岸駐車場整備事業 131万円
- 与那掘稲嶺原線整備事業 700万円
- 西崎運動公園LED整備事業 668万円
- 真壁小学校運動場整備事業 4189万円
- 三和中学校運動場整備事業 4217万円

平成28年第4回(4月)臨時会

第4回臨時会は、4月25日に開催されました。同臨時会には、平成28年度一般会計補正予算(第1号)などの議案3件及び報告1件の提出がありました。また、議員提出議案として意見書1件の提出がありました。議案の処理結果については、12ページに掲載してありますので、ご参照ください。

平成28年度一般会計補正予算(第1号)

本案は、歳入歳出予算にそれぞれ482万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ260億482万円とするものです。補正の主な内容は次のとおりです。

- 熊本地震災害見舞金 100万円
- 市議会議員選挙費 382万円

**否決
平成28年度一般会計予算に対する修正案**

平成28年度一般会計予算について、議員9名から、文化交流・情報発信拠点施設整備推進事業(実施設計費等)2億7783万円を減額する修正案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。市は一括交付金を活用し、西崎の県水産海洋技術センター跡地に、市民会館機能を備えた(仮称)文化・平和・観光振興センターの建設を計画しています。



(仮称)文化・平和・観光振興センター完成イメージ図

副議長の選挙

3月25日付けで副議長である新垣新議員より、3月31日をもって辞職したい旨の議員辞職願の提出があり、同日付けで議長において許可をしました。それに伴い、副議長の選挙が行われた結果、大田守議員が当選しました。

意見書

第4回臨時会では1件の意見書を可決しました。

「平成28(2016)年熊本地震」における迅速な被災者支援と早急な復興支援を求める意見書
あて先：内閣総理大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣(防災)、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

詳しくは次ページをご参照ください。(意見書全文の記載あり)



実証実験中のいとちゃん mini

7名、いとちゃんminiが5092名。④いとちゃんバスが808万6437円、いとちゃんminiが127万7700円である。

金城 総乗車人数の目標達成率は、いとちゃんバスが約37%、いとちゃんminiが約24%。また金額的にもマイナスである。同事業については計画性が甘いと思う。市は民間送迎バスを活用したブルーギンビリア号や既存バスにも毎年予算を計上しているが、金額も大きいので、いとちゃんmini、ブルーギンビリア号、既存バス、この3つの事業を1つにまとめるなど協議をしていただきたい。

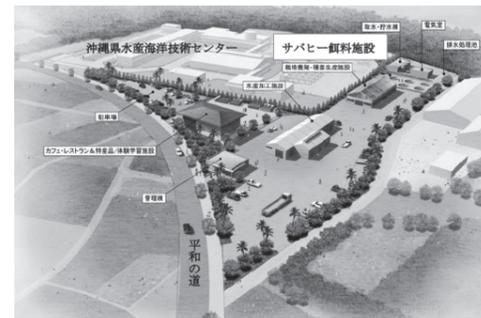
①サバヒー施設入居者募集業務の進捗状況。②事業計画を見直す予定はあるか伺う。

経済観光部長 ①現在、募集案内を広く周知するため、県内県外企業を対象に市の広報紙、ホームページ、県内新聞2社、全国版の水産経済新聞に広告を掲載し、入居者募集を行っている。平成27年7月1日から平成28年3月末までの募集期間となっているが、現在のところ応募はない。②同センターについては、いろいろな業種がある。魚類養殖、サンゴ養殖、海藻養殖、水産加工、カフェ・レストラン、第1期、第2期、第3期と分けて事業を行う予定であるので、今回応募がなかった場合、事業計画内容とスケジュールの見直しについて検討委員会

糸満市水産業振興センター事業について



山城 勉議員



水産業振興センター完成イメージ図

を立ち上げ詰っていく。

山城 サバヒー施設に入居応募がない要因は、事業採算性が合わない。県内で種苗を生産しているところがない。本土においても技術開発の成功例はあるが、商業ベースの生産確立に至っていない等々の課題があるからだ。この事業は最初の段階から計画性が全て崩れている。今の状況からすると、皆さんの計画だと言われても仕方がない。市は一括交付金でこの事業を展開しているが、国において事業の計画性が成り立っていないと判断されれば返還命令が来る。県に今までの状況を十分説明していくことを指摘する。

真壁大川原の里道に突如、太陽光発電のパネルが設置されている。この里道は農業を営んでいる人たちが利用している、字新垣の学道としても利用されていた。そこで、①里道はアスファルト舗装がされているが、その上にコンクリートで土台をつくり、パネルが設置されているので、当局に對し、どうなっているのか伺いたい。②その許可はどこが出したのか。③現在使用している道路を閉鎖してよいのか。④太陽光パネルを撤去させる考えはあるか。⑤そのままだと奥の人の畑が使用できなくなるがどう思うか。

市長 ①太陽光パネルの設置については、平成28年1月に里道沿い営農者からの情報で確認している。内容としては、

里道の保全について



喜納 正治議員

里道沿いの3筆の地権者が公図に基づいた境界沿いに太陽光パネルを設置したもので、現況里道の中心あたり、幅員が半分に減少している。②開発行為や農地転用等の許可対象外で、市の許可を必要としないことから、開発者により地積境界いっばいまで設置したとのことである。③④⑤現況は里道幅員が半分程度になっており、車の通行ができない状態となっている。パネル設置者や対面の地権者等との協議を行い、打開策を検討していきたい。

喜納 どんな方法でもいいから道を開けていただきたい。植えた作物は手入れをしないとだめになる。早めの打開策を要望する。



真壁大川原の里道に設置されている太陽光パネル

「平成 28 (2016) 年熊本地震」における迅速な被災者支援と早急な復興支援を求める意見書

4月14日午後9時26分ごろ、熊本県熊本地方で震度7(マグニチュード6.5)の大地震が発生し、九州各県や西日本の広い範囲で強い揺れを観測した。震源地の益城町を中心に死者が出るなど多くの被害が発生した。国内での震度7の観測は、東日本大震災の2011年3月11日にさかのぼりますが、その後も強い余震が連続して発生した。そうした中、追い打ちをかけるかのように16日午前1時25分ごろ、震度7(マグニチュード7.3)という阪神大震災と同規模の大地震が発生し、気象庁はこの16日の地震が「本震」との見解を発表した。当初の震源地から北東の南阿蘇村や大分県由布市などへ被害が拡大する事態となった。20日現在、死亡者は48人、避難者は9万人を超えている。

本市議会は、今回の熊本地震で亡くなられた犠牲者に深い哀悼の意をささげるとともに、被災者の方々への心からのお見舞いを申し上げます。

東日本大震災から5年、今もなお悲痛な記憶が覚めやらぬなか発生した今回の熊本地震は、私たちに改めて自然の驚異をまざまざと知らしめました。

また今回は、「前震の後に本震」という今までの「常識」を覆す事態も発生し、防災対策のあり方についての抜本的見直しは緊急の課題であります。

よって本市議会は、犠牲者と被災者の心情に寄り添い、「平成28(2016)年熊本地震」における迅速な被災者支援と早急な復興支援を国に強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成28年4月25日

糸満市議会

市政をただす 一般質問

平成28年第3回定例会では、3月11日、14日、15日、16日の4日間にわたり、18人の議員が一般質問を展開しております。質問については、1人1項目を要約して紹介しております。詳しい内容につきましては、市議会事務局や市立中央図書館に備えてあります会議録を御覧ください。なお、会議録は市議会ホームページからも御覧いただけます。

いとちゃんバス、いとちゃんminiの実証実験について



金城 悟議員

いとちゃんバスといとちゃんminiの①目標乗車人数。②目標収入。③総乗車人数。④総収入額について伺う。

企画開発部長 ①いとちゃんバスについては、平成25年度新しい公共交通検討事業報告書において、アンケート調査及び県による外国人観光客満足度調査、統計資料などから、1日当たり226人の利用を予測した。いとちゃんminiについては、平成26年度糸満市地域観光交通運行計画策定業務報告書において、県によるバスOD調査及びパシフィック調査データを用い、1日当たり102人の利用と予測した。②いとちゃんバスが約2000万円、いとちゃんminiが約500万円。③いとちゃんバスが1万710



西崎太陽児童センター

所がないことにより、まちを出歩き、登校に支障が生じた、非行行動に至るなどの問題を抱える子供が多いとされている。子どもの居場所づくりとは、こうした子供に居場所を提供し、地域の実情に応じて食事の提供や共同での調理、生活指導、学習支援を行うとともに、キャリア形成等の支援を随時行うものである。

福祉部長 ③平成26年度の利用状況は、西崎太陽児童センターの年間利用延べ人数は、1万9295人であり、1日平均すると66人の利用となる。がじゅまる児童センターの年間利用延べ人数は、1万7406人であり、1日平均にすると60人の利用となる。

福祉部長 ①沖繩子供の貧困緊急対策事業を活用し、6人は各中学校区に派遣し、2人は家庭児童相談室内に置くことを想定している。②児童館や地域公民館等を活用し、子ども食堂や学習支援を行っている団体、NPO等や社会福祉協議会からも力をかりて、持続性のある手法を検討して

子ども・子育て支援の充実について



砂川 金次郎 議員

①貧困対策支援員の配置はどのように行うのか。②子どもの居場所づくりの手法を伺う。③無料塾「いまなび」の拡充は人員、地域ともに絶対が必要だが、どのように認識しているか。④子育て広場「ぬくぬく」等の事業拡充に取り組むとしているが、具体的手法を伺う。⑤認可保育所や小規模保育の新設の規模(何園を計画しているか)。



平成28年度より開設した小規模保育施設 いっぱ保育園

いきたい。③生活指導、学習支援を行うとともに、キャリア形成等の支援を随時行うこととで、その拡充に努めたいと考えている。④真壁小学校に隣接した場所に真壁認定こども園を建設するに当たり、その2階に子育て支援室を設置し、市で3番目の子育て支援拠点の開設に取り組んでいる。⑤平成27年度に1カ所の認可保育所創設により90人、さらに新規整備として、現在2カ所の幼保連携型認定こども園及び1カ所の認可保育所創設により332人、9カ所の小規模保育事業の創設により168人、計13事業所で590人の保育の受け皿を整備しているところである。

平成28年度施政方針について



国吉 武光 議員

主要施策、人や文化のつながるまち(教育と文化)について。具志川城跡環境整備について伺う。

教育長 平成14年度に策定した保存修理実施計画に基づき、石垣の修復や基盤岩の補強、遊歩道や説明板の設置、パンフレットの作成等を行い、平成27年度で一連の事業は終了した。本実施計画には、トイレ等の建設もあったが、用地問題で建設に至ることができなかった。文化庁並びに県と調整した結果、平成28年度と29年度に実施する保存管理策定事業の中でトイレ、休憩施設等について計画を見直すようにとの指導を受けた。したがって、これら施設の建設に関しては保存管理計画策定後の平成30年度以降に建設して



具志川城跡の全景 (教育委員会生涯学習課提供)

いく考えである。

国吉 本当によかったと思う。具志川城跡この一帯はサーフィンや釣り場としては結構いいポイントとなっている。地域を利用した形で、釣り人とかサーファーが来て本当にいいところではあるが、残念ながら畑の中で用を足したり用を足したりするようないいところがあるので、ぜひ行政において、トイレの設置等を積極的に進めてもらいたい。

与座土地改良区の農道整備について



金城 敦 議員

①与座土地改良区の農道の側溝整備ができないか。②農道の舗装工事が進まないが、早期にできないか伺う。

市長 ①土地改良事業が平成5年に完了しているため、整備予定はないが、側溝の修繕については、多面的機能支払交付金での対応を考えている。②土地改良区内の農道舗装工事として農業基盤整備促進事業にて、平成26年度から平成29年度にかけて実施しているところである。



修繕が必要な農道の側溝

また、農道の舗装工事については、平成29年度まで実施していくことだが、与座地区の舗装率はどのくらいか。ほかの地区と比較してどうか。

経済観光部長 与座地区の現在の舗装率は、32・65%である。土地改良区全体で一番高いのは大里南地区で100%。ここは土地改良区の事業として、独自に補助事業を導入し100%終わっている。一番低いのは照屋地区で23・32%である。

金城 100%の地区もあれば、23%の地区もあり、不公平感がある。行政は不公平があってはならないと思う。与座地区の道路は雨が降るたびに泥だらけになり、農家は困っている。これからも整備が後回しにならないよう早めの整備をお願いしたい。

上原ヒロツネ市長2期8年の市政運営について



上原 正次 議員

市長自身はどのような評価をしているか伺う。

市長 1期目は、県や南部市町村との関係修復や悪化した財政の立て直し、肥大化した管理職と人件費の抑制など、本市の危機的状況からの再生に取り組んできた。2期目は行政改革により生み出した財源をもとに、高率補助制度を活用しながら障がい者の雇用対策や農水産業から観光産業まで、幅広い分野の経済対策に取り組んでいる。また子育て支援や教育環境の整備など、未来を担う子供たちへの投資を行った結果、人口減少時代にあっても市民はふえ続け、住民基本台帳ベースで6万人を達成している。さらに芸能が盛んで文化資源の豊富な本市にあって、大ホールを備え



議会で答弁する上原裕常市長

た施設整備は、昭和の時代から続く市民の願いである。30年余の長きにわたり先送りされ、我慢してきた市民の思いを実現するため補助制度を活用し、本市の魅力向上と経済振興を連動させた市文化・平和・観光振興センターの設計に取り組んでいる。「糸満市に元氣と笑顔を」のスローガンのもと、市民参画と協働を推進し、地域力を高める市政運営に努めたことで、自分のまちをよりよくしたいと汗する喜びを感じている団体を生み、新しい公共の担い手として育ち始めている。多くの市民が市政運営に関心をもち、夢の持てる住み続けたいまちづくりが進展していると実感している。

子ども・子育て支援の充実について



玉村 清 議員

今、社会問題化している子供の貧困問題がある。本市の貧困対策計画はどのようになっているか伺う。①貧困対策支援員とはどのようなものか。②子供の居場所づくりとはどのようなものか。③児童館の利用状況を伺う。

市長 ①沖繩子供の貧困緊急対策事業で新設された貧困対策支援員は、子供の貧困に関する各地域の現状を把握し、学校や学習支援施設、居場所づくりを行うNPOとの情報共有や子供を支援につなげるための調整を行う。また、居場所の担い手を確保するなどして、新たな子どもの居場所づくりの準備等を行うものとしてされている。②子供の貧困対策における沖繩特有の課題の1つに、日中及び夜間の居場



冠水が起きやすい潮平地区

いつから取り組むのか、また、予算規模について伺う。

水道部長 6月もしくは7月ごろに工事を発注したいと考えている。ただ、工事には県との調整等があるので、そういうところを踏まえながら年度内には完成させたい。工事費については2000万円から3000万円ぐらいと考えている。今年度部分の工事の区域を国道横断部分まで含めるか、国、県との調整で工事の額が変わってくる。

新垣 今まで大雨が降った際は、子供たちの膝上まで冠水した事例もある。ぜひ、国、県と調整を進めてもらいたい。

市民健康部長 警察と調整の上、駐車場整備の進捗状況を見守りながら対応していきたい。

経済観光部長 今年度策定予定の観光振興基本計画にレジャー・マリンスポーツを設定し、マリンスポーツの振興を推進していく。



米須山城海岸地区

米須山城海岸駐車場建設について

①目的と意義について。②海浜観光やレクリエーション、海のスポーツ振興についての市の認識。③信号機の設置など交通安全対策について伺う。

市長 ①当該地を利用する海利用面や観光客の利便性の向上及び交通安全の確保を目的としている。その結果、風光明媚な観光地としてのさらなる魅力向上と誘客効果を高めるとともに、地域経済への波及効果や慢性的な路上駐車の問題が図られることである。

浦崎 これまで以上に交通量がふえて交通安全の問題が重要になってくる。今は非常に危険な状況が見受けられるので、対応してほしいがどうか。

市民健康部長 工事の進捗を見ながら、当面の対策としては立て看板の設置等も含めて対策を考えていきたい。

米須山城海岸駐車場建設について



浦崎 暁 議員

たいが、当面は必要に応じて看板設置などの安全対策をとっていききたい。

浦崎 施設整備については現場で楽しんでる方々の声を聞いてほしい。当局はどう考えているか。

経済観光部長 サーフイン連盟やダイビング関係の意見も聞きながら基本計画の中に反映していきたいと考えている。

菊地 貧困対策計画を立てるための調査が必要である。その調査費は4分の3補助があるはずだが、本市では支援員が行うのか。

福祉部長 御指摘の事業は単年度での委託事業の中に調査員を配置することができるといふ事業で、単年度しかできないため平成28年度ではなく、

子供の貧困対策について

実態調査を行ったことがあるか。

福祉部長 市で子供の貧困についての実態調査を実施したことはない。子供の貧困の実態については平成28年度予算に計上している貧困対策支援員の配置により、学校や各家庭を訪問し、保護者から同意を得た上で生活状況等のモニタリングを行い把握に努めていきたい。

子供の貧困対策について



菊地 君子 議員

平成29年度に導入できるか調整していきたい。その間は貧困対策支援員のほうで実態調査の前準備をやっていきたい。

菊地 子供の貧困問題は深刻だと思ふ。医療、福祉、教育、いろんな機関が1つになってプロジェクトチームをつくって今後検討する必要があると思ふが、そういうことも含めて検討してもらえないか。

福祉部長 これまで庁舎内で児童家庭課、社会福祉課、学校教育課、生涯学習課、健康推進課、政策推進課で子供の貧困対策についての勉強会を3回開催している。今後については全庁的に発展させた上で、市民との協働も含めて会議を持っていかないとはいけないと考えている。



沖縄県子ども貧困対策推進計画(仮称)〈素案〉



西平 賀雄 議員

教育行政について

1月に本島南部で小学生の自殺報道があり、背景にじめじめ問題があったと報じられた。じめじめ問題では学校側の対応の遅さ、認識の甘さが指摘されている。①市内小中学校のじめじめの実態はどうなっているか。過去5年間のじめじめの推移を伺う。②過去5年間のアンケート調査等でじめじめによる自殺をほめかした児童生徒はいなかったか伺う。

教育長 ①小学校におけるじめじめの報告件数は、23年度5件、24年度14件、25年度4件、26年度10件、27年度2月末現在11件。中学校におけるじめじめの報告件数は、23年度7件、24年度19件、25年度14件、26年度6件、27年度2月末現在10件となっている。②小学校で2人、中学校で2人となっ



子供たちがよりよい環境で過ごせるように

西平 今回、貧困対策支援員を各校区に配置するという方針が出ているが、貧困対策支援員だけではなく、子供たちに対するケアをする意味においてもスクールソーシャルワーカーの配置を検討できないか。

教育長 県からの派遣事業であるが、現在、糸満市内においては2名派遣されている。中学校、小学校、それぞれの校区で問題があった子供たちに対応する形で活用されている。県全体で何名ふえたという数字は出されていないが、具体的内示には至っていない。

西平 糸満市はマンモス校を抱えている。県に強く当たって、糸満市にさらに配置をふやせるようお願いしたい。

糸満北地区農業かん水対策(リサイクル水)再生水による農業振興について



當銘 真栄 議員

北地区は、農業用水が以前からの課題であり、再生水の安定的な供給ができるようになれば、若者の農業経営がふえ、地域の発展にもつながると期待をしている。①進捗状況を伺う。②実証研究終了後の取り組みを伺う。

市長 ①実証施設は、本年2月に完成しており、3月1日に本格的稼働に向けた通水式を行った。施設は1日当たり1000立方メートルの処理能力を有しており、再生水は浄化センターにおいて研究期間中、無料で農家等へ提供することとしている。委託契約期間は、平成28年3月31日までとなっているが、平成28年度も継続して実証研究が行えるよう、国土交通省と調整を行っている。②沖縄県の可能

性調査及び実証事業の成果を確認し、糸満北部地域のかんがい排水事業の事業化を検討していきたいと考えている。

當銘 北地区と南地区で農業をしている若者の比率はどうなっているか。

経済観光部長 詳細な数字については手持ちがないが、北地区の土地改良区の皆さんとの話し合いの中で、大部分の方が再生水を使ってでも農業をしたい。水が足りないという話があった。

當銘 北地区に対しては早急にかん水対策をしてもらいたい。蛇口をひねればいつでも水が出るような環境に北地区もなってもらいたい。



ウイルスやバクテリアを除去する「UF 膜パイロット装置」(糸満市浄化センター)

潮平地区の冠水対策について



新垣 安彦 議員

平成28年度における冠水解消に向けた事業計画を伺う。

水道部長 抜本的な解決策としては、浜原都市下水路への分水及び下水函渠の新設等が必要と考えている。補助事業により整備を実施するためには事業認可の変更手続等が必要であり、時間を要することから、平成28年度においては県道82号線の冠水対策を応急的に実施していく。工事概要としては、国道及び県道の道路側溝排水が合流後、下水道白川1号幹線函渠へ取りつけられていることから、取付け部に新たに管理用ますを設置して円滑な流れによる排水能力の向上を図っていく。今年度は補助事業により実施設計を行ったところである。

新垣 改善するための工期、



「みどりの遊歩道」の整備計画予定地 (糸満工業団地北側)

号線北橋までの延長約3キロメートルの、遊歩道と植栽整備を予定している。
伊敷 この基本計画はどのようにして策定されたのか。
建設部長 学識経験者で大学の環境建設学科の教授、都市計画審議会会長、市の公共施設樹種検討委員会委員長、糸満工業団地協同組合の副理事長、市観光協会事務局長らを含む10名の委員からなる西崎みどりの遊歩道整備検討委員会を立ち上げ、延べ3回の委員会開催を経て策定している。
伊敷 構成メンバーについてもよく理解できた。大変すばらしい計画になると思う。早めの完成を期待する。

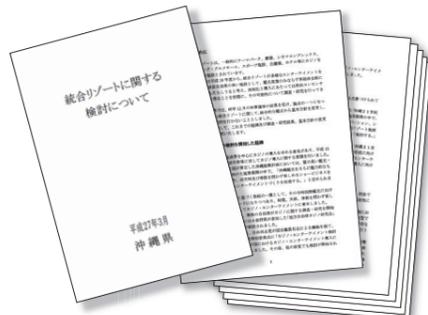
教育長 本条文には、あらゆる段階で障がい者を擁護する教育制度及び生涯学習の確保障がい理由に教育制度一般から排除されないこと等が規定されており、高く評価するものである。また教育の場はもちろんだが、全ての人がこのことを理解し合理的配慮が行われることが大事だと考える。
大田 特別支援学級を希望する保護者がいると思うが、平成28年度より新しくできる予



平成28年度より特別支援学級が2学級開設される西崎中学校

定の特級支援学級数を伺う。
教育委員会指導部長 小学校は3校で3学級、中学校は2校で3学級開設予定である。
大田 そういった支援を要する保護者の意見を聞く場は設けてあるのか。
教育委員会指導部長 子育てで気になる点がある保護者を対象に、就学相談会を毎年開催している。特別支援学校の教諭を含む10名の相談員が、個別に20分ほど、日常の心配事や特別支援教育等幅広い内容の相談に応じている。
大田 保護者の意見を聞きながら、地域の子供を地域で育てるといふ形ができる。市は最高のものをつくってくれたと思う。

本特別委員会は、平成25年12月定例会において発案され、まずは議員有志の勉強会を立ち上げるべきとの反対意見もあつたが、裁決の結果発足した。その後その日のうちに委員21名中10名の辞任届があり11名での運営と認識している。私もその辞任した1人であるが、それから2年以上が経過しているがそこで伺う。①委員長の就任年月日。②委員会の開催回数。③調査内容。④賛否を問わず議論を深めるとしていたが、IR招致によるメリットとデメリット。⑤市民への説明責任。
議会事務局長 ①平成26年4月16日。②平成25年12月に1回、平成26年に2回、計3回である。③沖縄県庁にて担当部署より、IRに関する県の取



平成27年3月に公表された沖縄県の「統合リゾートに関する検討について」

り組み等について説明を受けた。また海外視察の申し出を議会運営委員会に諮ったが、意見が一致せず実施されていない。④⑤現在、継続審査中のため、まとめられていない。
比嘉 平成27年度中に開催はなかったのか。計上された予算の執行はなかったのか。
議会事務局長 平成27年度中の開催はない。そのため支出もない。
比嘉 これは大きな問題である。計上された予算は適法・適正に執行されなければならぬ。市民への説明責任を果たさなければならぬ。また、充足数と定足数の兼ね合いで継続審査ができない現在の状況は、何らかの対策を講じる必要がある。

障害者権利条約第24条について



大田 守 議員

障害者権利条約第24条では、障がいのある人が成人教育や生涯学習も含めて、インクルージョン教育制度の下に良質な教育を受けられる公平な機会を与えられること、個人に必要とされる合理的配慮が提供されること、となっており、教育長の見解を伺う。

IR(統合リゾート)調査特別委員会について



比嘉 讓 議員

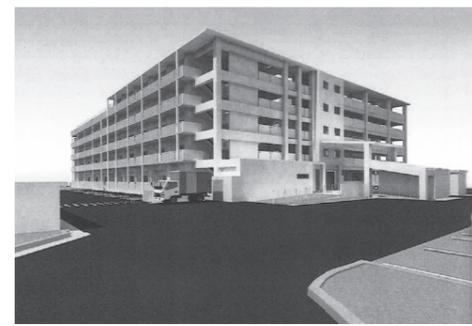
IR(統合リゾート)調査特別委員会は、平成25年12月定例会において発案され、まずは議員有志の勉強会を立ち上げるべきとの反対意見もあつたが、裁決の結果発足した。その後その日のうちに委員21名中10名の辞任届があり11名での運営と認識している。私もその辞任した1人であるが、それから2年以上が経過しているがそこで伺う。①委員長の就任年月日。②委員会の開催回数。③調査内容。④賛否を問わず議論を深めるとしていたが、IR招致によるメリットとデメリット。⑤市民への説明責任。



玉城 安男 議員

市営住宅の改築事業について

糸満南小学校跡地への市営住宅改築事業と第一市営住宅改築事業において、今議会に債務負担行為が提案されているがその内容等について伺う。
建設部長 (仮称) 稲嶺原市営住宅A棟については、相応の工事期間を見込む必要があり、工事の完成が平成29年度中を予定している。会計年度が2カ年となるので、翌年度分を債務負担行為で計上している。次に第一市営住宅改築事業については、建て替えに係る現住者の意向調査を実施の上で、基本設計及び実施設計を行うため、相応の日数が必要となることから、平成28年度において業務を一括で発注し、実施設計の完了が平成29年度中と会計年度が2カ年となるので、翌年度分を債



(仮称) 稲嶺原市営住宅完成イメージ図 (建設課提供)

務負担行為で計上している。
玉城 (仮称) 稲嶺原市営住宅のA棟の建設工事のスケジュールについて伺う。
建設部長 国庫補助金の交付決定が6月末か7月ごろになる。それを受けて8月ごろに入札をする。工事費が1億5000万円を超えるため9月定例会に契約締結の議案を提出し、10月ごろには工事に着手できる。全体の工事が平成29年の12月ごろまでかかる予定で平成30年の1月から2月にかけて検査等を行い、これに合格すると引き渡しを行う。
玉城 第一市営住宅の方が引越すのはいつ頃か。
建設部長 平成30年の4月から約3カ月間を計画している。

泊魚市場機能移転及び高度衛生管理型荷捌施設について



新垣 新 議員

進捗状況とスケジュール等について伺う。
経済観光部長 平成27年1月に美ら海卸売市場(仮称)施設新築工事基本設計業務を契約し、新糸満市場ワーキングチームを立ち上げ、平成28年3月末の基本設計策定に向けて取り組んでいる。今後の水産関係機関の合意が順調に進めば平成28年度に土地利用計画の変更を行い、平成29年度に実施設計、平成30、31年度に建設工事、平成32年度には新市場の開設を予定している。
新垣 当初のスケジュールはどうだったのか。
経済観光部長 平成22年10月29日に県及び県漁連と交わされた同意書では、市場移転の時期は荷捌施設、1次加工処理施設など、最低限必要な施設の完成後とし、平成25年を



市場移転が予定されている糸満漁港北地区

めどとするということである。
新垣 国からの補助金が必要である。農林水産大臣に要請活動を行ってはどうか。
市長 同意書の中で幾つか課題が挙げられている。それを一つ一つクリアしていくというのが同意書の内容である。基本設計はでき上がったが、それ以外にも解決すべき課題がある。今、県もいろんな市場関係者、県漁連も含めてそういった利害関係者と意見調整を図っている段階である。それを踏まえて糸満漁港につくると最終的に意思確認ができれば、お礼とお願ひに行きたいと考えている。

西崎の遊歩道整備について



伊敷 幸昌 議員

糸満工業団地の北側と西側の護岸沿いの緑地にある樹木は、植樹から数十年経過し、倒木や枯れ木もある。新規事業「西崎みどりの遊歩道」の整備計画の内容と規模を伺う。
市長 「観光地域づくり・健康増進を旨とした遊歩道」をコンセプトに、西側部分は海や夕日を見ながら散策ができるみどりとオーシャンビューエリアとして、北東側部分は既存の緑陰を生かしたみどりとリバービューエリアとして整備を行う。整備の内容は、10メートルの緑地の中に2メートルの遊歩道と植栽、西側については、一部盛土を行い海が眺望できる休憩所を設ける計画である。また延長については、糸満漁港北地区臨港道路から光洋小学校東側のD2